

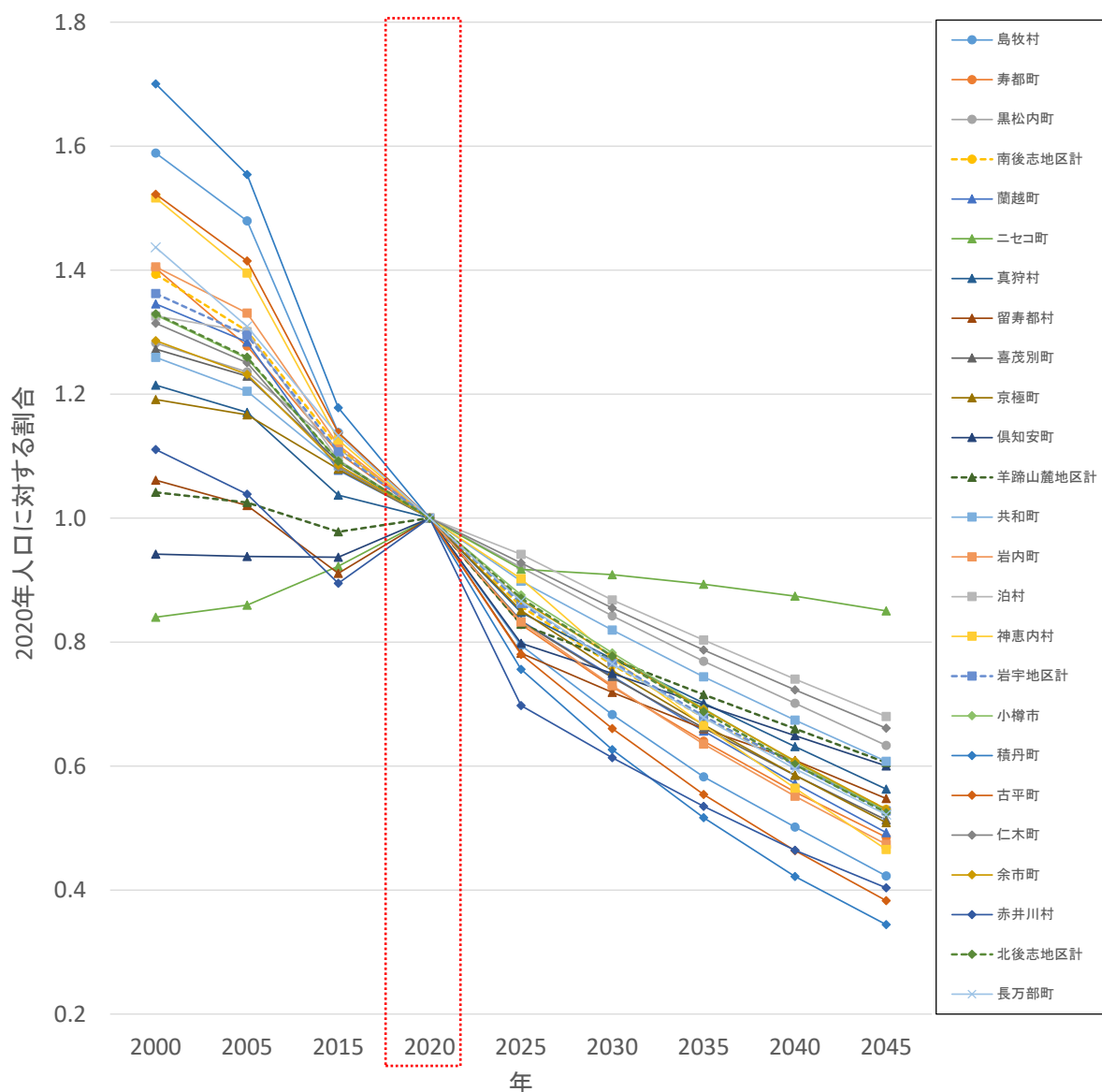
500m メッシュ人口を見ると、当地域の人口 21 万人（2020（令和 2）年）のうちの約 11 万人が集中する小樽市に人口 1,000 人超過のエリア（500m メッシュ）があり、地域中心都市の倶知安町、岩内町及び余市町には人口 500 人超過のエリアがある。その他の 16 町村は、人口 300 人超過や 100 人超過のエリアが僅かにあるが、主に人口 100 人以下のエリアが幹線道路沿いに広く分布している。



資料：国土数値情報（500m メッシュ別将来推計人口、2018（平成 30）年国政局推計）

図 3-5 人口分布（500m メッシュ人口）【2020（令和 2）年】

20 年前の人口と比較すると、ニセコ町及び倶知安町以外は人口が減少しており、将来は、ニセコ町及び倶知安町を含めた全市町村で減少し続ける予測になっている。



資料：2000（平成 12）～2020（令和 2）年人口：住民基本台帳

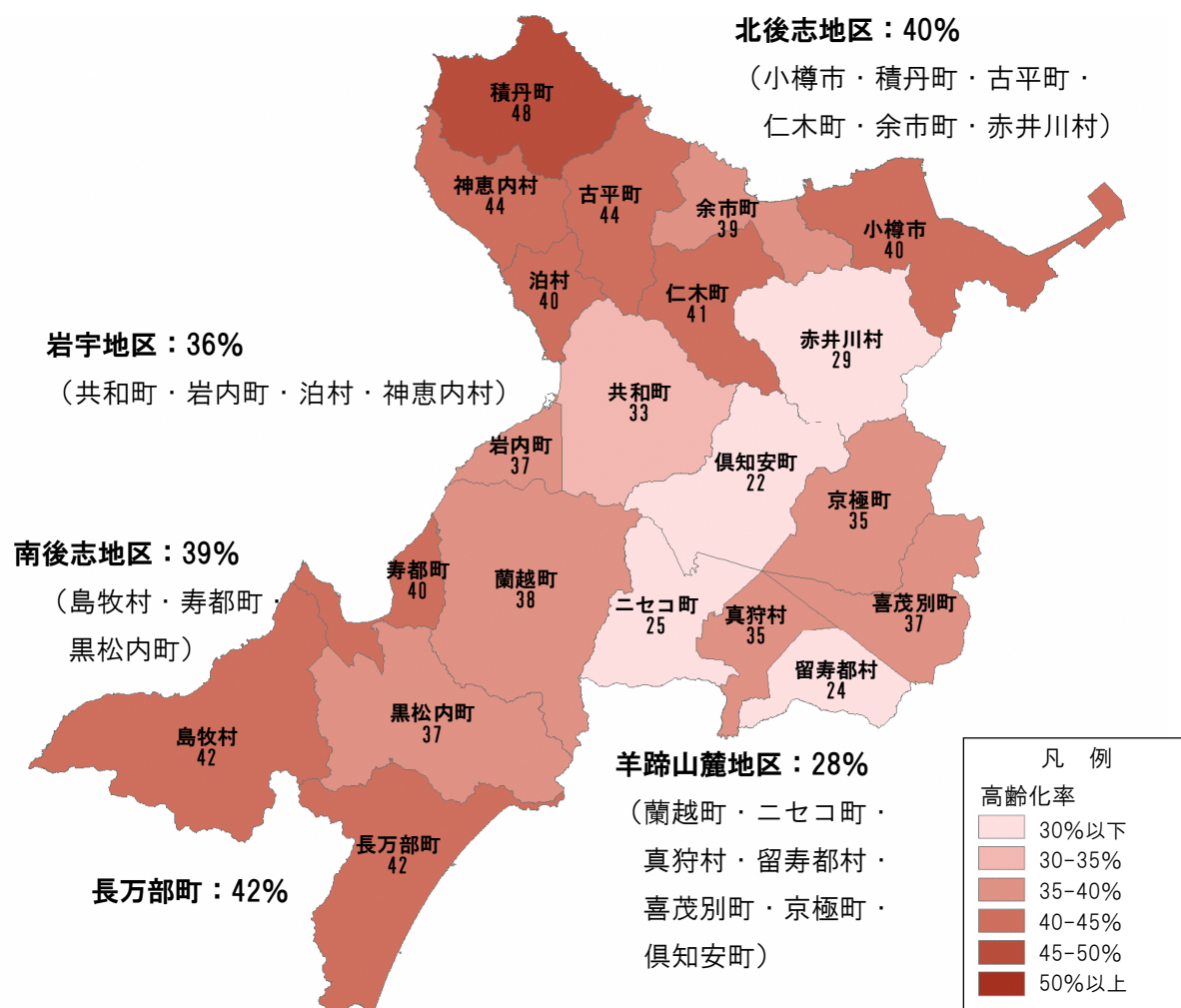
2025（令和 7）～2045（令和 17）年人口：

将来の地域別男女 5 歳階級別人口（国立社会保障・人口問題研究所）

図 3-6 地域・市町村毎の人口推移【2000（平成 12）年～2045（令和 17）年、2020（令和 2）年人口に対する割合】

(2) 高齢者人口の分布・推移

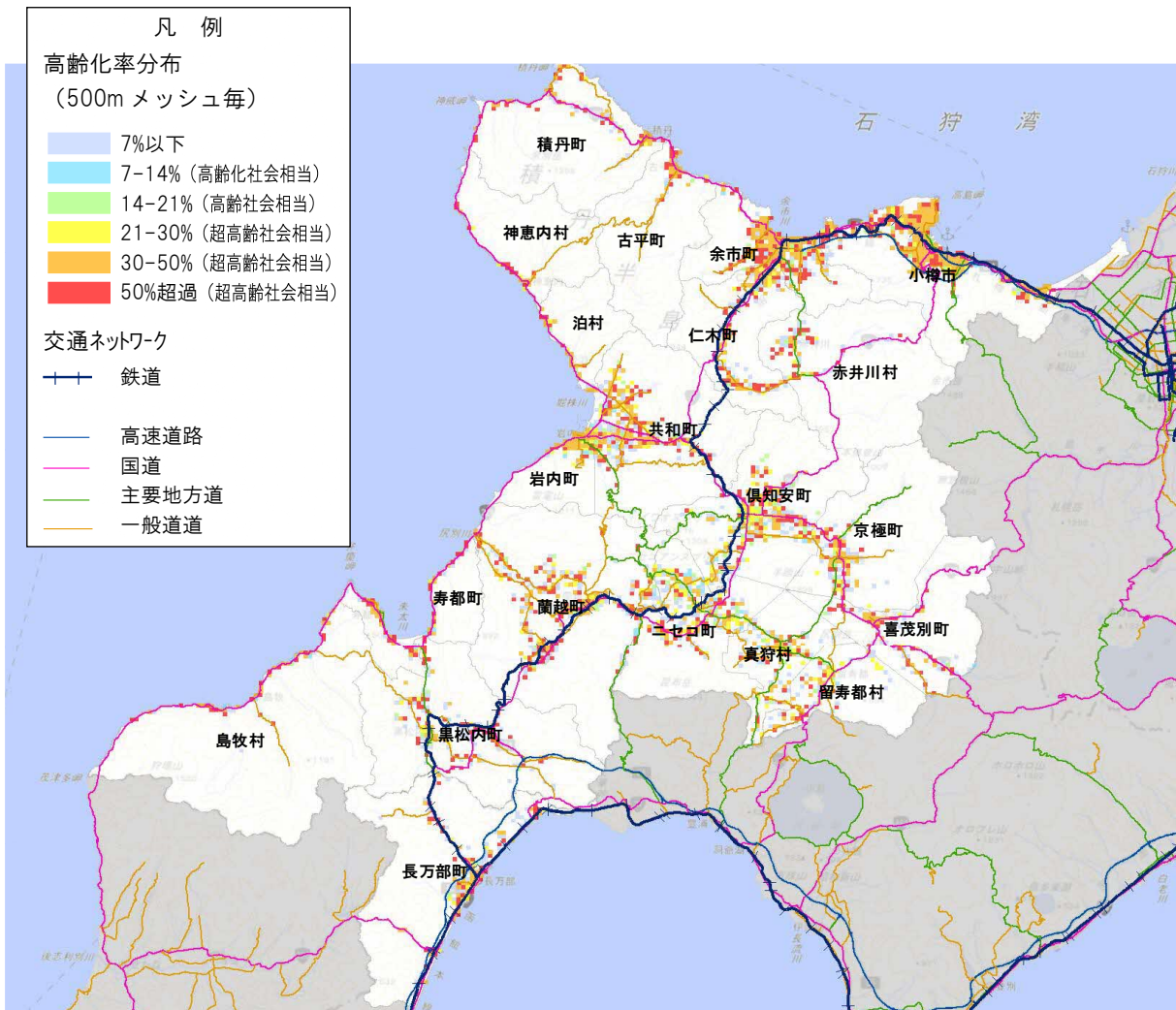
各市町村の高齢化率（65歳人口の割合）は、比較的低いニセコ町、留寿都村、倶知安町及び赤井川村（スノーリゾートがある町村）でも22%以上になり、後志地域の全市町村が超高齢社会（高齢化率21%超過）に達している。



資料：住民基本台帳

図 3-7 地域・市町村毎の高齢化率【2020（令和2）年】

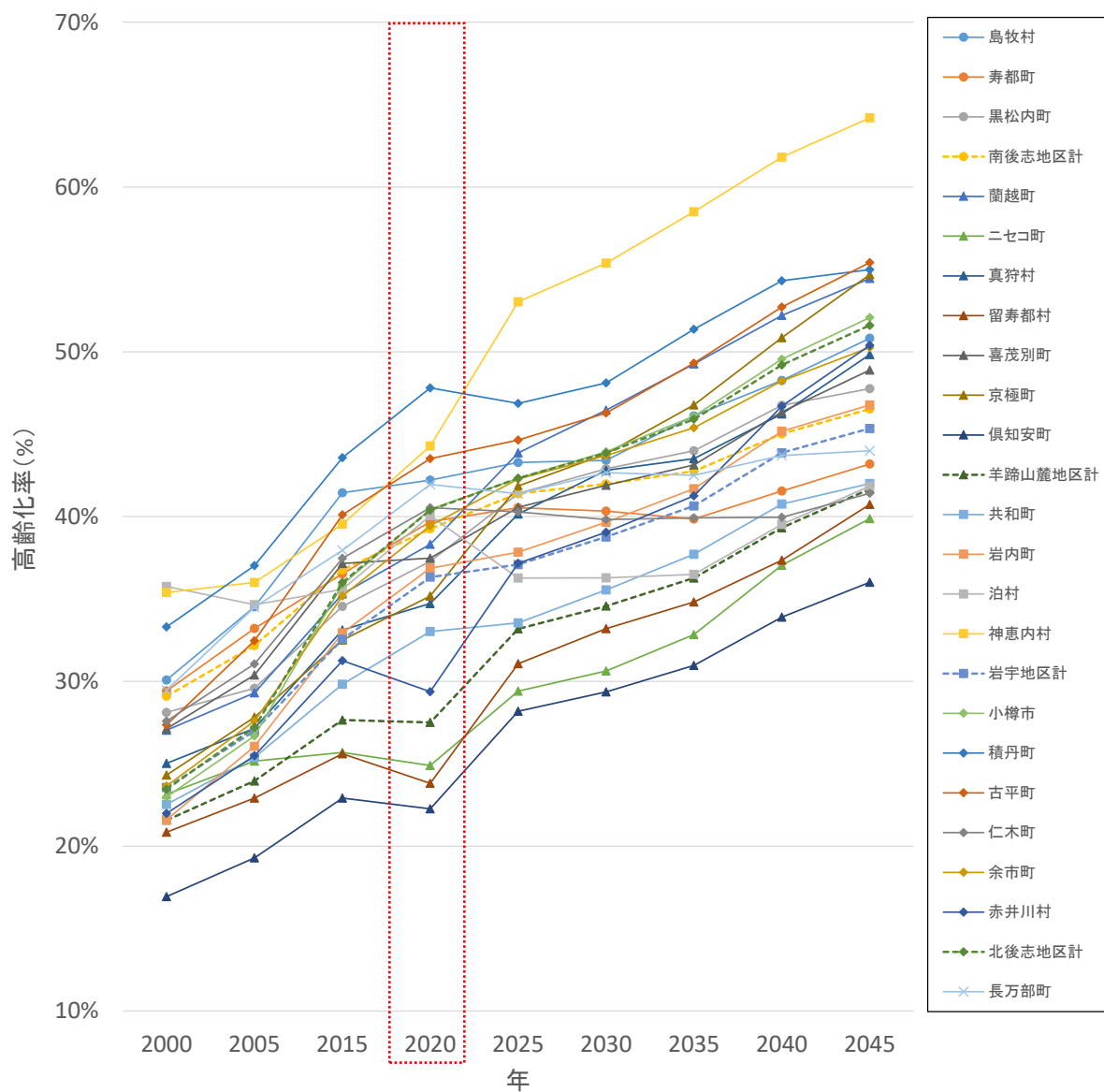
500m メッシュ毎の高齢化率の分布を見ると、比較的、ニセコ町や岩内町に高齢化率 7%以下のエリア（500m メッシュ）が多い。また、倶知安町等の羊蹄山麓エリアで 30%以下のエリアが多い傾向がある。それ以外は、小樽市や余市町の市街部等、全体的に 30~50%のエリアが多く、50%以上のエリアは、郊外部を中心に分散して存在している。



資料：国土数値情報（500m メッシュ別将来推計人口、2018（平成 30）年国政局推計）

図 3-8 高齢化率分布（500m メッシュ毎の高齢化率）【2020（令和 2）年】

各市町村の高齢化率は、ほぼ全ての市町村において、2020（令和2）年まで増加傾向で推移しており、今後も、高齢化率の増加が続くことが予測されている。



資料：2000（平成12）～2020（令和2）年人口：住民基本台帳

2025（令和7）～2045（令和17）年人口：

将来の地域別男女5歳階級別人口（国立社会保障・人口問題研究所）

図 3-9 地域・市町村毎の高齢化率の推移【2000（平成12）年～2045（令和17）年】